

津波以外の2次被害が予想される【岡村小学校】における防災マニュアル

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	予想される二次災害	2次避難	安全確認	情報収集被害状況把握	保護者へ連絡・引き渡し	防災拠点機能
授業中	校長・副校長	地震発生	<p>&lt;緊急放送で安全確保の指示&gt; &lt;テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手&gt;</p> <p>※停電を想定する対策</p>	<p>統轄本部設置 校長は、職員室で指揮 &lt;緊急放送で全校避難を指示&gt;</p> <p>副校長は、すぐに校庭へ避難・誘導安全確認</p>	<p>&lt;人数と安否確認&gt; 児童→担任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握(太田・山本は・佐々木) ②二次避難の準備・計画(二次避難場所の設定) ③負傷者の確認と手当(養護教諭) ④児童生徒の不安緩和(担任) ⑤病院等の医療機関との連携(養護教諭)</p> <p>※ただし停電時は不可能か?</p>	津波の影響を受けないと予想される学校	<p>&lt;安全な場所への避難指示&gt; ①校庭(校舎から離れた場所) ②地域防災拠点(本校) ③近隣の公園(三殿台公園・岡村公園等) ※本校が地域防犯拠点でもあり、本校にとどまることにより安全と考える。火災発生や校舎倒壊などの状況により近隣公園へ二次避難する。</p>	<p>&lt;人数と安否確認&gt; 児童生徒→担任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握(副校長・太田・佐々木) ②負傷者の確認と手当(養護教諭) ③児童生徒の不安緩和(担任) ④病院等の医療機関との連携(養護教諭)※ただし停電時は不可能か?</p>	<p>&lt;学校教育事務所へ連絡&gt; (第1次報告に変更がある場合) &lt;区災害対策本部へ連絡&gt; ※防災無線、FAXの活用</p>	<p>&lt;統轄本部で情報収集&gt; ①学校周辺の被害状況把握 ②公共交通機関等の運行状況把握 ③携帯電話への接続状況把握 ④保護者への連絡方法の確認</p>	<p>&lt;区役所との連携&gt; &lt;防災拠点運営の支援&gt;</p>
	教職員		<p>&lt;的確な指示&gt; ①「頭部をまもれ」 ②「机の下にもぐれ」 ③「机の脚をもて」 ④「安心するような声かけ」</p>	<p>&lt;校庭へ避難誘導&gt; ①名簿・引き渡しカード・ホイッスル等の携帯(事務職・奥山) ②配慮を要する子どもへの対応(打楽器・佐々木) ③トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認(学年職員)</p>	<p>災害対策本部設置 救出・救急医療班 活動開始 消火・安全点検班 活動開始</p>		<p>&lt;安全な場所へ避難誘導&gt; &lt;的確な情報を与え、落ち着くように指示&gt;</p>	<p>救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続</p>	<p>&lt;施設被害状況の把握&gt; &lt;危険箇所の立入禁止措置&gt; 掲示→佐々木</p>	<p>&lt;役割分担に従って行動&gt; ①学校、地域(通学路等)の被害状況把握(太田)(佐々木) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応(養護教諭) ④危険箇所の確認と立入禁止の表示(佐々木) ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭・児童支援専任を中心に担任も)</p>	<p>保護者へ連絡 ①メール配信による連絡 ②緊急連絡網等 ※停電時は連絡なし</p>
児童生徒		<p>&lt;揺れがおさまるのを待つ&gt; 机の下にもぐり、落下物から身を守る</p>	<p>&lt;落ち着いて移動&gt; 防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 &lt;おかしもの約束&gt; おさない かけない しゃべらない もどらない</p>	<p>&lt;負傷者がいる場合は助け合う&gt; ①勝手な行動をとらない ②私語をつつむ</p>	<p>&lt;落ち着いて移動&gt; 防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 教員の指示に従い、急いで集合場所へ移動</p>	<p>&lt;負傷者がいる場合は助け合う&gt; ①勝手な行動をとらない ②私語をつつむ</p>	<p>&lt;避難場所で静かに待つ&gt; &lt;指示に従って、帰宅準備を行う&gt;</p>	<p>&lt;下校&gt; ①保護者への引き渡し ②代理人への引き渡し ③留め置き</p>	<p>待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続</p>	<p>待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続</p>	
登下校中	校長・副校長	地震発生	<p>災害対策本部設置</p>	<p>統轄本部設置 校長は、職員室で指揮</p>	<p>&lt;安否確認&gt; &lt;1次避難状況を学校教育事務所へ報告&gt;(1次報告:FAX)</p> <p>※停電時は、防災無線で区役所へ</p>	校舎倒壊 火災発生	<p>○校舎倒壊・火災発生 &lt;校舎等からできるだけ離れた場所への避難指示&gt; ①校舎から離れた場所 ②近隣の公園 ③地域防災拠点</p>	<p>&lt;人数と安否確認&gt; 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④病院等の医療機関との連携</p>	<p>&lt;学校教育事務所へ連絡&gt; (第1次報告に変更がある場合) 連絡可能か?→区役所(防災無線) &lt;区災害対策本部へ連絡&gt; ※防災無線、FAXの活用(停電時は防災無線のみ)</p>	<p>&lt;統轄本部で情報収集&gt; ①学校周辺の被害状況 ②公共交通機関等の運行状況 ③携帯電話への接続状況 ④保護者への連絡方法の確認 ※可能な限り、緊急連絡網やメール配信を利用</p>	<p>&lt;区役所との連携&gt; &lt;学校教育事務所との連携&gt; &lt;防災拠点運営の支援&gt;</p>
	教職員		<p>&lt;揺れがおさまるのを待つ&gt; ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護</p>	<p>&lt;児童生徒の所在確認&gt; ①校内を確認(学年1名) ②通学路(公園等)を確認(学年1名) ③避難場所を確認(安全な広場へ)</p>	<p>&lt;情報収集&gt; ①学校に登校児童生徒の確認(学年1名) ②帰宅した児童生徒の安否確認(学年1名) ③校内施設被害状況の把握(太田・山本は) ④危険箇所の立ち入り禁止措置(佐々木)</p>		<p>&lt;的確な情報を与え、落ち着くように指示&gt;</p>	<p>救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続</p>	<p>&lt;役割分担に従って行動&gt; ①学校、地域(通学路等)の被害状況把握(太田・佐々木) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応(養護教諭) ④危険箇所の確認と立入禁止の表示 ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭・児童支援専任を中心に担任も)</p>	<p>保護者へ連絡 ①メール配信による連絡 ②緊急連絡網等 ※停電時は連絡なし</p>	<p>保護者が代理人が来校するまでは留め置き 保護者が代理人が来校するまでは留め置き</p>
児童生徒		<p>&lt;揺れがおさまるのを待つ&gt; ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護</p>	<p>&lt;安全な場所へ避難&gt; 揺れが収まる → 学校 校庭等、安全な場所に避難 自宅 帰宅した場合は、学校へ連絡可能か…?</p>	<p>&lt;学校へ連絡し、状況を報告、指示を受ける&gt; ※学校への連絡が困難な場合、引率責任者が指示 &lt;地元の公共機関等へ連絡し、救援要請を行う&gt;</p>	<p>&lt;学校&gt; ①教員の指示に従い、落ち着いて行動する ②防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きのまま移動</p>	<p>&lt;自宅&gt;(保護者とともに) ①出来るだけ高い場所へ避難(津波に備えて) ②落ち着いたら、市の指定した広域避難場所へ</p>	<p>&lt;負傷者がいる場合は助け合う&gt; 勝手な行動をとらない 私語をつつむ</p>	<p>&lt;避難場所で静かに待つ&gt; &lt;指示に従って、帰宅準備を行う&gt;</p>	<p>&lt;下校&gt; ①保護者への引き渡し ②代理人への引き渡し ③留め置き</p>	<p>待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続 ・不安を抱えた児童</p>	<p>待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続 ・不安を抱えた児童</p>
校外学習等	校長・副校長	地震発生	<p>&lt;安全確保を最優先&gt; ①地形や滞在場所の状況を判断し、安全確保を指示※津波に注意 ②公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う</p>	<p>&lt;揺れがおさまるのを待ち、安全な場所への移動を指示&gt;</p>	<p>&lt;学校へ連絡し、状況を報告、指示を受ける&gt; ※学校への連絡が困難な場合、引率責任者が指示 &lt;地元の公共機関等へ連絡し、救援要請を行う&gt;</p>	津波の影響を受けると予想される地域にいた場合	<p>&lt;地元公共機関等の指示を受け、近隣ビルの最上階又は近くの丘陵地への避難誘導&gt; &lt;津波情報の確認と最新情報を入手&gt; &lt;学校へ詳細を連絡し、指示を受ける&gt;</p>	<p>&lt;人数と安否確認&gt; ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④地元病院等の医療機関との連携</p>	<p>&lt;学校における今後の対応策の検討&gt; ①現地からの報告を受け、学校教育事務所に報告 ※停電時等、不可能な場合もあり ②保護者へ連絡(可能な限り、メール配信が緊急連絡網にて) ・現状の説明(安否についても) ・帰宅方法等について</p>	<p>③現地から帰宅させる交通手段等の手配 ④地元公共機関への応援要請 ⑤現地への教職員派遣(現地との連絡)(交通手段)</p>	<p>※県外(特に自然教室、修学旅行等)で校外活動中に、横浜市内で大規模地震に伴う被害が起きた場合は、学校または学校教育事務所に連絡し、具体的な指示を受けてから活動する。(特に横浜に向かって移動中の場合)</p>
	教職員		<p>&lt;揺れがおさまるのを待つ&gt; ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護</p>	<p>&lt;児童生徒を安全な場所へ移動させる&gt; &lt;公共交通機関を使用している場合は、乗務員の避難指示に従う&gt;</p>	<p>①区役所 ②近隣の小中学校 ③警察 等</p>		<p>&lt;教員や地元の方々の指示に従う&gt; ①落ち着いて行動する ②勝手な行動をとらない ③教師とはぐれた時は、動かず、その場で待つ</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>
児童生徒		<p>&lt;揺れがおさまるのを待つ&gt; ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護</p>	<p>&lt;安全な場所へ避難&gt; ①教員や公共交通機関の乗務員の避難指示に従う ②教師とはぐれた時は、動かず、その場で待つ</p>	<p>&lt;負傷者がいる場合は助け合う&gt; ①勝手な行動をとらない ②私語をつつむ</p>	<p>&lt;津波情報の確認と最新情報を入手&gt; &lt;学校へ詳細を連絡し、指示を受ける&gt;</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>	<p>津波の影響を受けると予想される地域にいた場合</p>